

夕刊 七月八日発行 本報の発行所は東京市神田区西神田一丁目一〇番地

野麥社俳句會雜評に應へて

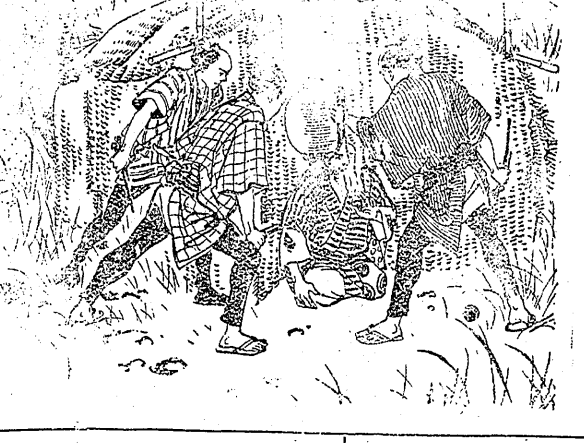
野麥社俳句會雜評に應へて 上 石橋 柴子 君が七月廿九日附本紙上ものをわかつて居るのか、に於て野麥俳句會雜評と題居ないのか、うたがわしくしてまことに好く切れる批評なつた。せんが爲の愚問評のメスを揮はれたが、僕ら仕方がないが、入門一年等は世の中には随分御苦勞生だつてもう少し氣の利い様な人が居つたものだと思ふ、ビントの合つた事を云心させられた丈だ。西田新夫も、わからぬから夫なんて名前の人があるのだから云ふなら、新聞るか否か、どうせ誰かの腹に自己の愚を發表する前に面なのだから、少なくも温和しく、禮儀らしく教を新聞紙上に自分の意見乞ひ給へ。何馬先生始め何を發表しなくてはならぬ程時でも其れ位の用意はして左様に地方文藝に注意の眼居るから

夏日即事 珠雲 小野務平 節人朱明 浦長 露々雲 齋藤中 花間清 齋藤前夢 十里田岡 只挿 妖刀流轉 加藤 文 輝

妖刀流轉 (160) 邑井 良吉 佐々木今朝吉 佐々木今朝吉 佐々木今朝吉

玉澤妙法華寺 加藤 文 輝 玉澤の寺のはいりの百日紅咲きたまひて日を經たらし

力利用 四家平 職業紹介所長談 (九) 亦當然なりとの觀念に基き殆んど實家に送金する者なく之に伴ふ弊害も亦夥しく出稼前は酒も煙草も口にせざる青年が出稼したるが爲め酒に親み煙草を喫むことを覺え其は女遊びはも覺ゆる



天氣豫報 今晩は南の風曇天 雨模様 明日は南の風晴 六者が有つて、此處まで追れるものはなく結局氣樂でつかけて来たのだが、何處御座りませうか

北川外科 外科一般 内臓外科 レントゲン科 泌尿器科

齋藤醫院 齋藤醫院 齋藤醫院

磐城の御みやげ品 靈峰羊羹 金十銭

根本醫院 婦人科専門 手術室完備

大和田醫院 咽喉科専門

花柳病科 井坂醫院

靈効散 胃腸薬

江尻醫院 皮膚科 泌尿器科

お醤油は ヤマフル 山崎合名會社

カメラ材料 藥品百貨 西村屋藥局

お醤油は ヤマフル 山崎合名會社

産科 醫學博士 婦人科 五十嵐雄二

平屋賣店 製鐵原料問屋

根本醫院 婦人科専門

力利用 四家平 職業紹介所長談

妖刀流轉 玉澤妙法華寺

天氣豫報 野麥社俳句會雜評に應へて

夏日即事 妖刀流轉

野麥社俳句會雜評に應へて

順風満帆の姿勢で 愈上青沼丸の進水式

盛り澤山な十日の市會

成集 正副議長が 決定した新開 容整備後最初 の市市會は愈上十日午前 十時から開かれ。議案は 左記の如く合計十九件と云 ふ盛澤山で時節柄熱議會 の一と苦勞を察するに餘り ながら、多岐月並議案の 外、平市政百年の礎石をな す市長選挙の重要案件があ るので各議員のハリ込みも 相替なるものあり、而も殆 ど既定の事實である青沼市 長代理の市長就任に對し、 渠成つて水道する自然の節 題を、恰も自家勢力の然ら しめたるもの如く僞裝し飛 んだお為かしの不勞所得 を策せんとする暗躍なども 行はるるは無いかと觀ら れる節もあり可なり。與味 を以て成り行きを判目され てゐる。

十二年度追加豫算 同特 別會計基本財産購入出進 加豫算 特別戸數制條例

同市執行規則 公告式條 例 常設委員(土木水道 醫務)設置規則 學務委 員設置規則 傳染病豫防 規則 名譽議員費用弁償 規則 名譽議員費用弁償 額報酬額及支給條例 更 員給料旅費支給條例 學 校授業料免除規則 消防 組織變更 同上體給與 規則 都市計劃委員選舉 規則 都市計劃委員選舉 區長及代理推薦 市長 區會委任事項議決 市長 選舉 市制第九十一條に 依る處分事項報告に關す る諸件

水難者の救濟

愈上本格的運動へ

郡下各濱の水難救濟會支部夫氏は七日午後六時二 時、資金簿などによつて従來十二分を著任 本格的活動に入れず有無 實の核小があらつたのを遺憾 として七月九日午前八時、 七日午前九時同組合に上 部に本部理事高木宗太郎、 石井二郎の兩氏並に八卷平三、 岩崎長等をして今後の資金で平均會では例年通り種 造政策、方針等を協議、救済者に温かいの手をさし 命懸の設備や水難者遺族に延べることとなり目下各區 救護等々實質的活動に入 別會計基本財産購入出進 加豫算 特別戸數制條例

滿鐵從業員合格者

平職紹抜ひて廿二名

平職業紹介所救済滿鐵從業員 員採用試験の受験者八十名 中合格者は在記二十二名に 決定、来る十六日午前八時 福島縣に集合の上翌十七日 神戸から福地丸で出航する 大野一、相澤誠、草野、 新妻得平、鹿島一高、高田、 夫、大久一本田貴一郎、 伊達朝太郎、渡邊儀雄、 相馬郡南浦一吉岡、同、 引地憲三、浪江一、佐藤、 義明、相馬郡飯沼一阿部、 三郎、同金房一市澤秀雄、 同木幡俊雄、同木田、 繁芳、浪江一廣畑至、相、 馬郡日立一平田則雄、相、 野一原田英夫、大野一青、 田豊、中村一木幡千里、

平第一臨海學校

勿來だより (第六回)

今日で六日、あと二日、平塚兩先生がお見舞に來て 下さつたのは、おにぎりへ 下の御手傳ひです。お母さん 御足の日、朝の食事が終ると先生方 平第一臨海學校の校長 鈴木先生(勿來)の汗を流しての 九面の海岸を過ぎ縣境に いた日、先生方、毎日僕等を遊ばして、砂の上で今日も亦

日本醫大

本部在任 朝の食事が終ると先生方 平第一臨海學校の校長 鈴木先生(勿來)の汗を流しての 九面の海岸を過ぎ縣境に いた日、先生方、毎日僕等を遊ばして、砂の上で今日も亦

の救ひの手を恰も特權の川村十九夜郎中△七四四部では會員一名一圓宛を贈 如く心得へてゐるものも、部村婦人有志△五五五部村出計二十九圓を國防費、内 分調査を進める等 區司令部へ

醫師會起つ 石城郡平塚管内聯合保健組合平支 醫師會でも午後運動に乗り 出し此役役員會で協議の結 果軍人遺族に對しては無 料、又は半額で醫務に當るこ ととなつた

ラヂオ体操増加 ラヂオ体操の會は既報の如く六十四名に比し三千四百五 十名に増加したと云ふ激増振り、先づ健 去る一日から市内三小學校と云ふ激増振り、先づ健 去る一日から市内三小學校と云ふ激増振り、先づ健 去る一日から市内三小學校と云ふ激増振り、先づ健

三十の椅子が八千兩

平市議選舉費縣報で告示

立候補五十一人。之の一人當り二百圓合計廿二 萬二圓也を供託して持つた過般の平市議員選 舉費用は既報の如く、更に此程の縣報を以て告示 されたが、之れによると合計八千八百八十七圓三 十九圓八厘、この平均百六十二圓四十九圓八厘で 法定の約半額であつて居る勘定であるが、其の 内詳を見ると當選者三十三名分五千五百四十九圓 三圓三厘、最高二百七十九圓四十一圓五厘、最低 五十三圓五十二圓、平均百七十一圓八十二圓一厘 五、最高二百七十九圓九分五厘、最低六十六 圓六十八圓、平均百四十九圓九分六厘となつ て居る。

博徒に罰金 既報 去月八日の長喜間川前村川 前藩長(義興)の方で花賭博 を開張した同入外七名は六 日石合檢事から左の如く略 式罰金 △罰金六十圓石工務部 義興△罰金四十圓福商山 田孝一△罰金三十圓福 本本江四郎△罰金同大越元 治△罰金同二十圓福商山

八ヶ岳市町村に交付

本年三月縣廳學校を卒業した 新任地に配置されたまま、 短期現役として入替した教 員の俸給は國庫負擔法に △百五十圓一亦井 内郡

角の、大きい、小さいの懸だ。お前は福島縣なら 色々の形のものが出る。... ながら、おにぎりへ 下の御手傳ひです。お母さん 御足の日、朝の食事が終ると先生方 平第一臨海學校の校長 鈴木先生(勿來)の汗を流しての 九面の海岸を過ぎ縣境に いた日、先生方、毎日僕等を遊ばして、砂の上で今日も亦

一日歸り臨海團通信

氣持のよい朝の空 歸りにつくと 直ぐにか 走らせる音 直ぐに出來 朝の學習

松の森越し キラキラと 今日を約束する 氣持のよい 朝の空

平第一小學校

八月六日(日) 八日(月) 五日(水曜日) 後二日 八日(月) 五日(水曜日) 後二日 八日(月) 五日(水曜日) 後二日

槍投 街上自轉車、自轉車の警備警鈴 自動車の自轉車、自轉車の警備警鈴 自動車の自轉車、自轉車の警備警鈴

勿來事件結審 勿來町野田辰泰鈴木水津 二部(三)にかゝる暴行致傷 事件は平支部調停審判部 係りで審理中七日終結、起 訴公判に廻された

八月五日(木曜日) 後二日 八日(月) 五日(水曜日) 後二日 八日(月) 五日(水曜日) 後二日

八日(月) 五日(水曜日) 後二日 八日(月) 五日(水曜日) 後二日 八日(月) 五日(水曜日) 後二日

以心院新盆に相當り申候處時節柄甚 だ勝手ながら佛前燈提灯其他供物等一 切御辭退申上候間不御了承相成度 御願申上候 敬白

内郡村字小島

加藤 政 英

迎接院新盆に候處誠に勝手がましく 候得共時節柄提灯其他供物等御辭退 申上度御諒承御願申候 敬具

平市田町

野崎 滿 藏

亡妻新盆に相當り候處誠に勝手がましく 候得共時節柄提灯其他供物 一切御辭退申上度謹告仕候 敬具

平市吉田町十一

石田 吉 五 郎

益の御用意是非當店

佛壇 佛位牌 佛具類 佛金具類

品買相求ては勉強でありませぬ 値戻はかり安くて 安んでは店にはハヤラヌ...

市制記念奉仕! 御當店に御寄りにサマハヤラヌ

平市四丁目局前

山光堂 佛具問屋 (電話五五〇番)

四ツ倉支店 博善社 造花店 木戸支店 榮玉堂

お盆提灯大賣出し

絹張燈、牡丹行燈、都行燈、御殿行 燈、ステレ行燈、二連行燈、紋天行 燈、猫足行燈、其他他形 他店にて見られぬ特約品澤山取揃 へました。

平市四丁目角

菅野屋商店 電話一五七

遠近に不拘見本を持参いたします。

玉屋眼鏡店

自覚視力試験 の設備もありません。 御自由に御試し下さり 各眼科、玉屋眼鏡店 處方調製 平市二丁目